

健康診断実施項目について

問診票記入

治療中、既往歴、自覚症状や、生活習慣について記載してください。記載された内容は、医師の診察や総合判定に反映されます。

健診受付

問診票が記入された受診票で受付いたします。その際に、尿容器と事前申込者のみ便容器を回収します。

身体測定

身長・体重を測ります。肥満が誘因となる病気には、高血圧、糖尿病、狭心症、心筋梗塞、動脈硬化、脂肪肝、痛風などさまざまなものがあります。

視力測定

視力計を用いて測定します。裸眼もしくは矯正にて視力を測定しますので、メガネ等必ずご持参ください。

血圧測定

血圧が高くても症状が少ないために気付かず治療開始が遅れ、脳卒中や心臓病になるまで放置している人が少なくありません。血圧は循環器系の状態をあらわす大切な指標ですが、体調や環境によって差が大きいため、落ち着いた状態で測定してください。

採 血

採血項目には、肝機能、腎機能、膵機能、糖尿病、痛風、貧血、全身状態、B 型肝炎検査等があり、採血により多くの情報がえられます。

尿検査

尿中の蛋白、糖、潜血を測定します。おもに、腎臓から、尿路(腎盂、尿管、膀胱、尿道)の疾患と、糖尿病の有無を調べます。

聴力検査

オーディオメーターにて、1000 ヘルツと 4000 ヘルツ2種類の純音を用いて、測定します。この検査により、会話音や日常の中で聞こえる音に対する聴覚の状態を判断します。

心電図検査

不整脈、脚ブロック、狭心症、心筋梗塞などの病気を診断します。心臓の筋肉が収縮するときに出る電気を、胸や手足につけた電極でとらえ、波形で表したものです。心臓肥大、不整脈、心筋梗塞、冠動脈硬化などの中でも自覚症状が少ない病気が見つかることがありますので、若年者も測定する必要がある検査項目です。

腹囲測定

内臓脂肪の蓄積によっておこるメタボリックシンドロームを判定に活用します。おへそ周囲径と、血圧異常、脂質異常などを基に判定いたします。

医師診察

医師が、結膜(貧血、黄疸など)、リンパ節、甲状腺、心音、呼吸音、四肢の浮腫、皮膚の観察、その他問診内容や自覚症状を参考に受診者の状況に合わせた診察を致します。血液検査などとは違って、直接的な観察になりますので、必ず受診をお願いいたします。

レントゲン検査

肺炎・肺結核・肺がんの早期発見、診断を目的としています。肺気腫・肺線維症などの呼吸器疾患や心臓の大きさ(心胸比)・大動脈の状態を知る上でも重要な検査です。

オプション検査項目

ABC 検診

(ペプシノゲン検査)

胃粘膜の委縮の程度を調べる検査で、委縮が進むと委縮性胃炎や胃がんなどの病気になりやすいといわれています。そのため胃の状態をチェックする検査です。

(血中ピロリ菌抗体検査)

ヘリコバクターピロリ菌は、胃の中に住み着き、慢性胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がんの原因とされています。感染していると血中にピロリ菌抗体が検出されますが、ピロリ菌除菌治療中の方は、正しい結果が得られませんのでご注意ください。

※2つの検査を同時に行うことで胃がんのリスクを判定できます。

便潜血検査

大腸がんは初期の段階で出血を起こすことがあるため、微量な出血の有無を調べる検査で、大腸がんの早期発見につながります。

腫瘍マーカー検査

(CEA)

大腸、胃、膵臓、肺などのがんで高値を示します。

(CA19-9)

膵臓がん、胆のうがんなどで高値を示します。

(PSA)

前立腺がんのスクリーニング検査として有用です。血尿などが現れる前の早期発見が大切で、異常が出た場合は精密検査が必要です。

(CA-125)

卵巣がん、子宮がんのスクリーニング検査として使われております。子宮内膜症、子宮腺筋症、乳がんでも上昇することがあり、健康な人では妊娠初期、月経時、閉経前に数値が上昇することがあります。

甲状腺ホルモン検査

(TSH)

甲状腺ホルモンの分泌を調整するホルモンで甲状腺機能を鋭敏に反映しております。

(FT4)

高値は、やせ、手の震え、頻脈は亢進症の可能性があり、低値は、倦怠感、むくみ、体重増加など、低下症の疑いがあります。

骨密度検査

骨の密度を骨密度と呼び、減少すると、骨が弱くなり骨折しやすくなります。骨密度の少ない状態を骨粗鬆症といいます。骨粗鬆症は、男性よりも女性に圧倒的に多い疾患です。検査は今の年齢ごとの平均値比較が可能ですので、今の年齢での骨密度を知る機会になります。

C型肝炎ウイルス検査

慢性肝炎と診断された60%がC型肝炎によるものです。肝硬変、肝がんに行進しやすいC型肝炎にかかっているかを検査します。

眼底検査

目の網膜や、血管の状態を検査します。特に高血圧、糖尿病、動脈硬化などの程度を、血管そのものを直接的に観察できる唯一の検査です。その他、緑内障、黄斑変性症など視力障害となる疾患も見つかる検査です。

心臓機能検査

心臓から分泌されるホルモンで、心臓に負担が出ると高値を示します。

《歯科医師国保加入者》受診者区分別健診項目一覧表

受診者区分	基本検査項目											検査料(円)	基本検査料負担金
	身体測定	視力測定	血圧測定	血液検査	尿検査	聴力検査	心電図検査	腹囲測定	医師診察	レントゲン検査	問診特健健診項目※メタボ判定		
甲種・乙種組合員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9,550	無料
甲種・乙種家族(39歳以下)及び後期高齢者組合員	○		○	○	○		△				◇	3,520	無料
甲種・乙種家族(40歳以上75歳未満)	○		○	○	○			○	○		○	5,160 ^{※※}	無料
基本項目以外を検査希望の場合は、右の検査料にて任意で検査可能です	110	110	110	3,190	110	330	1,650	220	880	2,510	330	実費負担	

※ 腹囲測定、血圧測定、血液検査の結果を基にメタボ判定をします
(健診当日に別途検査をするわけではありません)

※※特定健診判定料 210 円を含んだ金額です。

○印 : 基本検査項目となりますので、該当項目を受診してください。

△印 : 後期高齢者組合員は無料となります。

◇印 : 腹囲測定を追加した場合、メタボ判定料(330円)については本組合が負担します。(本人負担 220円)

《歯科医師国保未加入者》健診項目料金表

歯科医師国保未加入者料金表	身体測定	視力測定	血圧測定	血液検査	尿検査	聴力検査	心電図検査	腹囲測定	医師診察	レントゲン検査
項目料金表	110	110	110	3,190	110	330	1,650	220	880	2,510

腹囲測定、血圧測定、血液検査の3つ全てを受診した場合、メタボ判定料として 330 円が発生します。